

うご町

発行：社会福祉法人 羽後町社会福祉協議会



# 社協だより



— 社協の今 福祉の今 あなたの今を共に —

第 123 号 **ふれあい** 令和 7 年 5 月 1 日

## ～社協役職員研修～

## 稲川「やさしい森のポロ」・十文字「ふれあい館」へ



↑ 橋本施設長による説明、読み書き障害の疑似体験



令和 7 年 3 月 11 日（火）、羽後町社会福祉協議会の役職員による役職員研修が行われました。

午前中は、稲川「多機能型児童発達支援施設やさしい森のポロ」にて、橋本施設長による施設の説明や読み書き障害の疑似体験ののち、施設の見学をしました。

午後は、十文字「ふれあい館」にて、横手市社協・日野事務局長より横手市社協の概要や、横手市から無償譲渡を受けた 3 施設の細かい内容などたくさんお話を聴かせていただきました。

今後の施設運営など、当社協にとって参考になる研修会となりました。



↑ 横手市社協・日野事務局長による説明

前号でもお伝えしたとおり、令和6年9月に町広報等で「羽後町高齢者福祉施設の運営移譲法人募集」と題して、現在町が運営している高齢者福祉施設の令和8年度からの運営を民間に移譲するための募集が発表されました。これに対して、理事会にて協議のうえ応募を決定し、必要書類の提出と審査委員会でのプレゼンテーションを行った結果、令和6年11月18日付で羽後町社会福祉協議会が、優先交渉者としての協定を結ぶこととなりました。

これにより、令和7年度に移譲に向けた運営体制等の協議や手続き等を町と行い、令和8年4月からは、羽後町から移譲を受け、羽後町社会福祉協議会が、松喬苑・高瀬ケアセンター・田代福祉センターの3施設の運営を開始することとなります。

「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体（社

会福祉法第109条）」である社会福祉協議会は、地域の高齢者に対する支援にも取り組んでいます。一人暮らし高齢者等の安否確認活動である「安心・安全な街づくりパトロール隊事業」、地域でのサロン活動の活性化や資源の開発に携わる「介護予防・日常生活支援総合事業」を中心として住民主体の組織作りや生活支援の実施を目指して7地区の支会と連携しながら活動を行っています。このような活動を活かしながら、高齢者の在宅での生活を支援しつつ、介護が必要となった際には切れ目なく必要な介護保険サービスを活用できるように体制を充実させて、令和8年4月からの運営開始に向けて、これまで以上の責任を持ち、取り組みんでまいります。

ここからは、運営移譲となる現状3つの高齢者福祉施設をご紹介します。

# 福祉施設の運営が変わります！

## 特別養護老人ホーム 松喬苑

- 介護サービスの種類 介護老人福祉施設  
短期入所生活介護
- 所在地 〒012-1103  
羽後町林崎字五林坂7
- 居室数 [特別養護老人ホーム]  
2人部屋 1室(21.8㎡/室)  
3人部屋 1室(18.4㎡/室)  
4人部屋 20室(31.3㎡/室)  
[ショートステイ]  
4人部屋 2室



昭和53年の4月から開始しており、地域では最も古く伝統のある施設です。五輪坂の自然豊かな環境の中に位置しており、施設には冷暖房や電動ベッドを完備しています。



## 田代福祉センター

- 介護サービスの種類 小規模多機能型居宅介護
- 所在地 〒012-1242  
羽後町上到米字高橋39-6
- 居室数 [宿泊室]
 

|      |    |
|------|----|
| 個室   | 2室 |
| 2人部屋 | 1室 |
| 4人部屋 | 1室 |

利用する方の状態や希望に応じて、大規模な施設では困難な個別ケアを「利用者の方それぞれに合わせていつでも提供していける」ことが最大の特徴となります。「通い」「泊まり」「訪問」の各サービスを組み合わせ、住み慣れた自宅や地域の中での自分らしい生活の継続を支えます。

# 令和8年4月から、羽後町高齢者

## 高瀬ケアセンター

- 介護サービスの種類 特別養護老人ホームたかせ  
高瀬デイサービスセンター  
ショートステイ高瀬  
グループホームやまびこ  
高瀬生活支援ハウス
- 所在地 〒012-1351  
羽後町下仙道字風平97番地1
- 居室数 [特別養護老人ホーム]  
ユニット型個室 10室×3ユニット  
[ショートステイ]  
個室 4室(60.0㎡/室)  
4人部屋 4室(243.6㎡/室)  
[グループホーム]  
個室 9室(1ユニット)  
[高瀬生活支援ハウス]  
居室 15室



特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ等のサービスに加え、認知症の方のためのグループホーム・生活支援ハウスがある多機能な福祉複合施設であり、さらに地域の交流の場である公民館を加えた多機能な施設となっています。

## 令和6年度 第2回

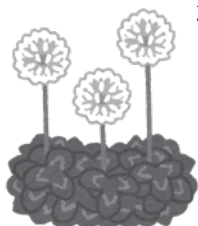
社会福祉法人  
羽後町社会福祉協議会

## 評議員会

令和6年度第2回羽後町社会福祉協議会評議員会が、3月25日に開催され、議長に選出された新成地区の佐藤雅彦氏の進行のもと進められました。

はじめに、羽後町高齢者福祉施設運営移譲先法人の審査結果決定についてやたすけあい不納欠損の報告について等が報告されました。

議事は、令和6年度補正予算についてや令和7年度事業計画・予算についてまた、評議員・役員の定数に関する定款の一部改正について審議され、上程された全ての議案は、全会一致で議決されました。



## 基本方針

第5期地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）が策定され、今年度で2年目となります。少子高齢化に加え、住民一人ひとりを取り巻く環境の変化や地域福祉課題の多様化、複雑化がより顕著になってきている現状をふまえ、高齢者福祉のみならず各分野の支援等にも力を入れ、計画の内容に見直しが必要か検討します。

こうした事業をととして住民主体の地域福祉活動をめざしながら、関係機関・団体等との連携を強化し、誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりに努めます。

## 活動の重点項目

1. 第5期地域福祉活動計画を関係機関と連携を図りながら、「みんなでふれ愛、ささえ愛の安心の町づくり、地域共生社会の実現」をめざします。
2. 福祉ネットワークの拡充と地域福祉活動を展開します。
3. 地域包括ケアシステムの構築について関係機関との連携に努めます。
4. 世代間交流や町民の福祉意識の醸成に努めます。
5. ボランティア活動の拡充と環境の整備に努めます。
6. 福祉相談窓口を充実させ、関係機関と連携を図り早期解決に努めます。
7. 障がい者関係団体等との連携による地域福祉活動に一層努めます。
8. 町の避難訓練と連携を図り、災害が発生した場合に迅速な対応ができるように努めます。
9. 若年層の抱える課題と現状の把握に努め、その支援に努めます。
10. 組織体制の強化と健全財政の確立により一層努めます。
11. 介護保険法・障害者総合支援法など、目まぐるしく変わる制度に対応できる法人となるよう一層努力します。
12. 訪問介護事業・居宅介護支援事業と同様に、地域住民から必要とされる五輪坂デイサービスセンターを運営します。



●1月

三輪 中川 文子 様  
本（むかしつこ春秋）

●12月

公益社団法人  
湯沢法人会 様  
タオ

## 物 品

●3月

(株)ジエイエイおがち  
葬祭センター  
従業員親睦組合 様

●12月

三輪 小林 宏隆 様

●1月

新成 和田 稔 様

## 寄 金

心あたがいに寄付  
ありがとうございました



令和7年度の予算は下記のとおりとなります。  
表は、社会福祉事業拠点区分・公益事業拠点区分を合算したものと なっています。

令和7年度  
社会福祉法人  
羽後町社会福祉協議会予算

7億174万8千円

収 入

事業活動による収入

単位：千円

|   | 科目名               | 金額      |
|---|-------------------|---------|
| 1 | 会 費 収 入           | 3,130   |
| 2 | 寄 付 金 収 入         | 350     |
| 3 | 経 常 経 費 補 助 金 収 入 | 20,833  |
| 4 | 受 託 金 収 入         | 433,966 |
| 5 | 事 業 収 入           | 833     |
| 6 | 介 護 保 険 事 業 収 入   | 118,284 |
| 7 | 障害福祉サービス等事業収入     | 2,400   |
| 8 | 受 取 利 息 配 当 金 収 入 | 16      |
| 9 | そ の 他 の 収 入       | 932     |
|   | 事業活動収入計 ①         | 580,744 |

施設整備等による収入

単位：千円

|  | 科目名           | 金額 |
|--|---------------|----|
|  | 施設整備等による収入計 ④ | 0  |

施設整備等資金収支差額 ⑥＝④－⑤ -1,133

その他の活動による収入

単位：千円

|   | 科目名                     | 金額     |
|---|-------------------------|--------|
| 1 | 事 業 区 分 間 繰 入 金 収 入     | 3,150  |
| 2 | サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入 | 43,141 |
| 3 | そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入   | 3,500  |
|   | その他の活動収入計 ⑦             | 49,791 |

予 備 費 支 出 ⑩ 1

前期末支払資金残高 ⑫ 71,213

支 出

事業活動による支出

単位：千円

|   | 科目名       | 金額      |
|---|-----------|---------|
| 1 | 人 件 費 支 出 | 542,546 |
| 2 | 事 業 費 支 出 | 22,844  |
| 3 | 事 務 費 支 出 | 24,709  |
| 4 | 助 成 金 支 出 | 3,990   |
| 5 | 負 担 金 支 出 | 1,060   |
|   | 事業活動支出計 ② | 595,149 |

事業活動資金収支差額 ③＝①－② -14,405

施設整備等による支出

単位：千円

|   | 科目名               | 金額    |
|---|-------------------|-------|
| 1 | ファイナンス・リース債務の返済支出 | 1,133 |
|   | 施設整備等による支出計 ⑤     | 1,133 |

その他の活動による支出

単位：千円

|   | 科目名                     | 金額     |
|---|-------------------------|--------|
| 1 | 事 業 区 分 間 繰 入 金 支 出     | 3,150  |
| 2 | サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出 | 43,141 |
| 3 | そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出   | 14,675 |
|   | その他の活動支出計 ⑧             | 60,966 |

その他の活動資金収支差額 ⑨＝⑦－⑧ -11,175

当期資金収支差額合計 ⑪＝③＋⑥＋⑨－⑩ -26,714

当期末支払資金残高 ⑬＝⑪＋⑫ 44,499

法人本部拠点区分

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 法 人 運 営 事 業       | 特別養護老人ホーム松喬苑介護等業務事業 |
| 善 意 銀 行 運 営 事 業   | 羽後町田代福祉センター介護等業務事業  |
| 訪 問 介 護 事 業       | 福祉バス運行管理事業          |
| 身障・知障（児）・精神居宅介護事業 | 高瀬ケアセンター業務事業        |
| 退職積立金運営事業         | 安心・安全な街づくりパトロール隊事業  |
| 生活福祉資金貸付事務事業      | 共同募金配分金事業           |
| 通 所 介 護 事 業       | 福祉サービス利用援助事業        |
| ふれあい安心電話推進事業      | 移送サービス事業            |

公益事業拠点区分

|                 |
|-----------------|
| 居 宅 介 護 支 援 事 業 |
|-----------------|

## サロンカフェ「のなか」 特殊詐欺対策講座

三輪にあるサロンカフェ「のなか」は、毎月第2日曜日に野中集落会館でサロンを定期的に開催しています。お茶っこを飲みながら会話を楽しむときもあれば、体操で体を動かす日もあり、色々な活動を行っているサロンです。

令和7年2月9日(日)は、月に1度サロンが開催される日でした。この日は、湯沢警察署より生活安全課の草薙祐哉氏を講師にお招きして、「特殊詐欺対策講座」を開催しました。

特殊詐欺の被害について、テレビなどで目にする機会も多くなりましたが、実際に羽後町でも被害の件数が多いことから、講座が開催されました。湯沢警察署の草薙氏からは、秋田県内で令和5年度の詐欺被害額は5億円を超えることや、オレオレ詐欺の他にもロマンス詐欺(恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取る)や、SNS型投資詐欺(嘘

の投資の広告やメッセージなどで信用させ、投資金などという名目で振り込ませる)など様々な手口があることをお話していただきました。また、この機会に参加者からは海外からの怪しい電話が届くことなどたくさん質問があり、その対策についても教えていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。



よろしくお願いします



**日本赤十字会費  
青い羽根募金  
ご協力お願いします**



令和7年度の日本赤十字会費と青い羽根募金の活動が、6月より始まります。

### 日本赤十字会費

被災者救援の救護班派遣や、災害見舞金、救援物資の配布などの災害救護の他、生命と健康を守る赤十字講習の開催、学校教育の中で赤十字の理念を活かし育成を図る活動等に活用しています。

### 青い羽根募金

日本水難救済会が水難事故防止について事業推進を目的に全国的に行っている募金活動です。海や河川などの水難事故防止のために活用しています。



編集  
後記



与謝蕪村の名句に「春の海ひねもすのたり のたりかな」の一句がある。一日中ゆったりとした波が柔らかく繰り返しているのはこの海だろうか。

縁側を渡る暖かな柔らかな風のように、それは私たちが忘れ去った幼き日々の愛おしい一齣ではないだろうか。

しかしながら、現在の私達の暮らしている世界ではどうだろう。我を通した自己中心主義のオンパレードで、他を押し威嚇し、自己満足が罷り通る世界でそういった世界に足を踏み入れた善良な人々はどこに行くのだろうか。

そんな世の中だからこそ、ひねもすのたりと心と心を広く持ち、ゆったりとした時間の流れの中で、自分を思い、他人を思うことの大事さをつまでも持ち続けたいものです。

(S・S)

この福祉だよりは、共同募金の配分金で発行されています。